

MISHIMA MAI
三島 舞

コーディネーター

主研究
テーマ

「地域志向型教育・研究・社会貢献，自治体・NPO・大学等との連携」

【キーワード】 COC，地域志向，地域資源，地域連携



地域再生・活性化の拠点となる大学を目指して

活動紹介

◆活動概要

佐賀大学は西九州大学と共同申請し，平成 25 年度に採択された「文部科学省 地（知）の拠点整備事業」（通称：大学COC事業）において，「コミュニティ・キャンパス佐賀アクティベーション・プロジェクト」を推進しています。この事業は，佐賀県全域をキャンパスと位置付けて，全学的に“地域志向型”の教育・研究・社会貢献の取り組みを行い，地域再生・活性化の拠点となる大学を目指すものです。本学では全学教育機構を含む各学部で主となる 7 つのプロジェクトを推進し，さらに地域志向教育研究経費事業として，毎年約 15 件の取り組みを行っています。

唐津市藤野
棚田における
環境保全活動



◆コーディネーターの役割

この事業の全体調整役“コーディネーター”として，平成 25 年 12 月からさまざまな教育・研究・社会貢献の活動に携わり，地域と大学を結ぶお手伝いをしています。これまでも，フィールドワークを軸として，絶滅危惧種を保全するための里山環境のあり方や，ラオスにおける市場を介したコミュニティについて研究を行ってきました。その後，新聞社・環境NPOに勤務し，県内で活躍する数百人の方々と出会いました。これらの経験を通して，佐賀県内には魅力的なひとや場所，ものなど，たくさんの“地域資源”があることを知りました。これらの地域資源を有機的につなぎ，発展させるためには，大学の“知”を活用することが求められていると感じます。

◆大学COC事業の取り組み

現在，前述した 7 つのプロジェクトにおいて，佐賀県および佐賀市，唐津市，小城市，鹿島市，嬉野市，神埼市，吉野ヶ里町の 6 市 1 町と連携し，30 件以上の取り組みを行っています。具体的には，佐賀市では中心市街地活性化を目的とした佐賀大学サテライトゆつつら〜と館を活用したイベントの開催，ラムサール条約登録湿地に選定された「東よか干潟」における地元小中学生対象の環境教育の実施，鹿島市では重要伝統的建造物群保存地区に選定されている「肥前浜宿」での環アジア国際セミナーの開催，佐賀市・鹿島市・嬉野市における健康教室の開催，小城市でのフットパスを活用したまちづくり，唐津市離島での地域医療実習，農学部附属アグリ創生教育研究センターでのアグリ医療の開発や機能性食品の研究・開発などです。

これまでに大学COC事業として実施された地域活動は，合計 876 回，参加学生数は 14,765 名に上っています（平成 30 年 1 月 15 日現在）。学生は大学で学んだ知識を地元の小中学生に伝えたり，地域住民の方にまちづくりの企画・提案を行ったりと，積極的にその成果を地域に還元するとともに，これらの活動を通じて地域に学んでいます。また，関連した地域での研究活動も盛んに行われています。



佐賀市中心市街地
活性化のための
まちなかエクスカッション

唐津市離島向島での合宿
島民とのワークショップを開催



掲載情報 2018 年 2 月現在

地域みなさんへ
一言アピール

地域活性化のためには，私自身が地域を知ることからだと考えています。地域にお伺いした際は，ぜひその魅力を教えてください。